

平成27年度 第2回函南町立図書館協議会 議事録

- 1 日 時 平成28年3月23日(水) 15時～16時30分
- 2 会 場 函南町立図書館 2階 研修室
- 3 出席者 委員 山邊 義彦 学校教育関係者
富永 和彦 学識経験者
今泉 良三 社会教育関係者
石田 和久 学識経験者
中村 忠和 社会教育関係者
稲葉 優子 家庭教育活動者
酒井 大二郎 学校教育関係者 (欠席)
- 事務局 山下 雅彦 (欠席)
大沼 裕幸
西澤 文雄

4 公開・非公開 公開

の 別

5 傍聴人の数 0人

6 内 容

- 1 開会
- 2 大沼裕幸 函南町立図書館長 挨拶
- 3 報告事項 (1)から(4)を合わせて事務局より説明
 - (1) 平成27年度函南町立図書館の利用状況について
 - (2) 平成27年度の事業報告について
 - (3) 利用者アンケート結果報告について
 - (4) 平成27年度蔵書点検の結果について

各委員から出されたご意見

委員 丹那小学校及び桑村小学校への出張貸出について、小学生の反応はどうだったのでしょうか？

事務局 実際に生徒と接しながら貸出をしているので、時間帯はお昼休みとなります。今年度は2回しか実施しませんでした。本を持っていくと生徒たちは非常に喜びます。先生方も顔を出してくれましたし、学校司書や先生からこんな本を持ってきてもらいたいとリクエストにも応えていますので、この出張貸出は満足していただけてるのではないかと実感しています。

ただ、生徒全員が来てくれた訳ではないので、事前の周知等改善していく部分はありますし、時間帯が短いので学校側と協議して詰めていく部分はあと思っています。

委員 図書館職員の態度や対応の点数についてですが、ホテルを例にしますと、ホテルはサービス業であり、部屋を借りる目安として口コミがあります。80点以上で良い部分に入り、90点以上になりますと優秀という部類になります。比較対象として似ている部分があり、今回の利用者アンケート結果では84点ぐらいはありますので合格点ではないかという判断ができると思います。

事務局 利用者アンケートの中には、職員によって少し差があるのではないかという意見もあり、そのところは私も感じているところです。窓口で利用者と接する態度であったり、声や聞き取りやすさには差があると思います。今後、接遇研修等を実施しながら全体を高めていきたいと思っています。

委員 非常に安定した運営をされていると感じます。今回の利用状況の数値からもそれが確認できます。アンケート結果については目標値を設定して、満足度何%を目指すというようなところを明確にすると改善に繋がると思います。今回は集計結果だけになっていますが、次回は目標値を設定して職員間で共有するとサービスの向上に繋がると思います。

委員 資料を確認して非常に状況がよくわかります。私は読み聞かせをやっているので、このアンケート結果を見て、もう少し頑張らないかという気持ちを強く持ちました。全体として非常に良い運営がされていると思います。

委員 特に意見はありません。非常に良い運営がされていると思います。

事務局 おかげさまで開館から3年が経過しますが、他の図書館でよく耳にするクレマーや、大声を出したり他の利用者に迷惑をかける人が函南町の図書館にはいませんので、安定した運営ができていないかと思っています。

議長 指摘等ありましたが、より良い安定性を求めてさらに努力していただければと思います。報告事項の方は以上で終わりにしたいと思います。

4 協議事項

(1) 図書館資料の郵送貸出について 事務局より主旨の説明

事務局 昨年委員の皆さまにもご意見をいただきました移動図書館について、多くの意見を集約した結果、経費が掛かりすぎるというところと、それに対する効果が見込めないというところで、移動図書館の導入はしないという結論に至りました。では、その代替えとして、身体の不自由な人や理由により図書館に来館できない人に対するサービスの一環として、宅配サービスの要綱を作成しました。対象者や送料の負担等、委員の皆さまのご意見をいただきたいと思っています。

各委員から出されたご意見

委員 高齢者の要件について、65歳以上で要介護2程度以上となっていますが、若い人でも要介護の人が中にはいるのかなと思いました。それについてはどうでしょうか？

事務局 若くして要介護の認定を受けている人は、おそらく障害者手帳が交付されているのではないかと判断しています。もし、障害者手帳が交付されていない場合は、(3)の図書館長が特に必要と認めた者のところで対象とすることができると考えています。

議長 要介護2程度以上と規定した理由はありますか？

事務局 他の図書館高齢者サービスを参考にさせていただいた結果、要介護2程度以上と規定しているところが多かったので採用させていただきました。要介護認定を受けていなくても、申請をすれば要介護2程度の判定は受けられますという人がいた場合、この「程度」という部分で判断をして、対象としたいと考えています。

委員 図書館に来館が困難な者という文言はとても大事で、(1)(2)に該当していなくても、来館が困難な場合は(3)の図書館長が特に必要と認めた者で対象となるところは良いと思います。

事務局 対象者のところはこの要綱の内容でよろしいでしょうか？

委員 問題ないと思います。

事務局 それでは送料の部分についてはいかがでしょうか？

委員 件数が予想を超えることになったら考えなければなりません、今のところ送料は町が往復負担するというので良いと思います。

委員 許可の期間は3年とするとありますが、この期間の根拠は何ですか？
少し長いようにも感じますがどうですか？

事務局 図書館の利用者カードの更新が3年となっています。それに合わせて3年と設定させていただきました。

議長 事務局の意欲的な気持ちも伝わってきましたので、この要綱を基本にして実施していただき、もし課題が出てきたらその時に検討しましょう。

事務局 実施してみても課題が出てきたら検討させていただきますので、この要綱をベースに考えさせていただきます。

(2) 平成28年度の事業計画について 事務局より主旨の説明

事務局 平成28年度の事業計画は、基本的には開館から3年間実施してきた事業を継続して行っていく計画です。平成28年度新たに実施する予定の事業は、先程協議させていただいた宅配サービス事業です。他には丹那小学校及び桑村小学校への出張貸出を年2回から年4回に増やします。あとはこれまでも実施してきたおはなし会や、小中学校の図書館見学、学校の職場体験の受け入れを実施し、毎年8月と12月に子育て支援センターと共同で実施しているわくわくまつりを企画しています。それから職員の研修（接遇）も実施したいと考えていますし、職員と読み聞かせボランティアさんのスキルアップを目的にした研修会も考えています。今まで実施してきた事業をやめるという事業はありませんので、引き続き内容を充実させ継続していきたいと考えています。

議長 安定した運営に寄与している事業については内容を充実して継続していただき、新たに実施する事業についてはよく検討して実施していただきたいと思います。

委員 8月に防災訓練という計画がありますが、函南町の総合防災訓練と似たような訓練を実施しているのですか？

事務局 知恵の和館では年2回防災訓練を実施しています。役場で実施している防災訓練は東海地震を想定した訓練を行っています。知恵の和館はまだ建てられてから3年で、地震の規模にもよりますが耐えられると考えています。図書館の来館者には高齢の方もいますので、その方に訓練で慌てて避難をしていただく方が返って危険な目に遭わせてしまうのではないかと考えられることから、館内整理日に職員のみによる防災訓練を実施しています。去年は田方消防を招いて応急処置やAEDの使用方法を学びました。今回は防災機器の点検も含め、実際に消火栓からの放水訓練と消火器による消火訓練を実施する予定となっています。また懐中電灯や救急箱の点検等も実施する予定となっています。

議長 お話を聞く中で非常に楽しみな図書館に育っているなという感想を持ちましたので、是非また有意義な運営をして、より楽しくしていただきたいと思います。

5 閉会 大沼館長あいさつ

事務局 平成28年度の第1回目の協議会は7月の中旬頃を予定しております。日程が決まりましたら改めて通知させていただきますので、よろしくお願ひ致します。